



2025 年 10 月 30 日

BMW 2 シリーズ グラン クーペが、2025-2026 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて、栄えある 10 ベスト・カーに選出

BMW グループからの 10 ベスト・カーの選出は 16 年連続

BMW 2 シリーズ グラン クーペの 10 ベスト・カー選出は先代モデルに引き続き連続での受賞

「BMW 2 シリーズ グラン クーペ」が、一般社団法人「日本カー・オブ・ザ・イヤー」実行委員会（実行委員長：鈴木慎一）主催の 2025-2026 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて、並みいる強豪をおさえ、栄えある 10 ベスト・カーに選出された。

2025-2026 日本カー・オブ・ザ・イヤーは、2024 年 11 月 1 日から 2025 年 10 月 31 日までに発表または発売された多くの国産車、輸入車が選考対象となるが、「BMW 2 シリーズ グラン クーペ」は一次選考において、上位 10 モデルとなる 10 ベスト・カーの栄冠に輝いた。

BMW グループにおいては、

13 年前の 2012-2013 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて「BMW 3 シリーズ セダン/ツーリング」が、10 年前の 2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて「BMW 2 シリーズ アクティブ ツアラー/グラン ツアラー」が、

5 年前の 2020-2021 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて現行モデルの「BMW 3 シリーズ セダン」が、

2 年前の 2023-2024 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて現行モデルの「BMW X1」が、

さらに、昨年の 2024-2025 日本カー・オブ・ザ・イヤーにおいて「MINI COOPER」が、輸入車の頂点となるインポート・カー・オブ・ザ・イヤーに輝いている。

また、

11 年前には「BMW i3」がイノベーション部門賞（現：テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー）に、

9 年前には「BMW M2」がエモーショナル部門賞（現在は廃止）に、

7 年前には「BMW X2」がエモーショナル部門賞（現在は廃止）に、

4 年前には「BMW 4 シリーズ」がデザイン・カー・オブ・ザ・イヤーに、

3 年前には「BMW iX」がデザイン・カー・オブ・ザ・イヤーに、

輝いており、BMW グループの製品は、過去 16 年の内、インポート・カー・オブ・ザ・イヤーを含め、10 のメジャーな賞を受賞している。

BMW グループにおける過去 16 年の 10 ベスト・カー受賞歴

- 2010-2011 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 5 シリーズ
- 2011-2012 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 1 シリーズ
- 2012-2013 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ
- 2013-2014 日本カー・オブ・ザ・イヤー: MINI ペースマン

- 2014-2015 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW i3
- 2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 2 シリーズ アクティブ ツアラー / グラン ツアラー
- 2016-2017 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW M2 クーペ
- 2017-2018 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 5 シリーズ
- 2018-2019 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW X2
- 2019-2020 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ セダン
- 2020-2021 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 2 シリーズ グラン クーペ
- 2021-2022 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 4 シリーズ
- 2022-2023 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW iX
- 2023-2024 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW X1
- 2024-2025 日本カー・オブ・ザ・イヤー: MINI COOPER
- 2015-2026 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 2 シリーズ グラン クーペ

BMW グループにおける過去 16 年の受賞歴

インポート・カー・オブ・ザ・イヤー

- 2012-2013 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ
- 2015-2016 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 2 シリーズ アクティブ ツアラー / グラン ツアラー
- 2019-2020 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 3 シリーズ セダン
- 2023-2024 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW X1
- 2024-2025 日本カー・オブ・ザ・イヤー: MINI COOPER

テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー

- 2014-2015 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW i3 (受賞時の受賞名はイノベーション部門賞)

デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー

- 2021-2022 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW 4 シリーズ
- 2022-2023 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW iX

エモーショナル部門賞 (現在は廃止)

- 2016-2017 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW M2 クーペ
- 2018-2019 日本カー・オブ・ザ・イヤー: BMW X2

BMW 2 シリーズ グラン クーペについて

BMW 2 シリーズ グラン クーペは、プレミアム・スマート・コンパクト・セグメントに属するモデルであり、2019 年に同セグメントにおける BMW 初の 4 ドア・クーペとして初代モデルが誕生した。スポーティで俊敏なハンドリング性能に、優雅なデザインと、さらに 4 ドア・モデルならではの高い利便性が組み合わされたモデルであり、第 2 世代モデルへと進化した現行の BMW 2 シリーズ グラン クーペは、BMW の象徴的なキドニー・グリルに斜めのデザイン*を取り入れると共に立体的なプレスラインを採用する事で、一層スポーティな印象に生まれ変わっている。また、48V マイルド・ハイブリッド・システム*搭載モデルを投入する等、最新テクノロジーの採用により、走行性能はより力強く、スマート・コンパクト・セグメントのモデルなら

ではの軽快なきびきびした走りと共に、BMW 2 シリーズ グラン クーペは、クーペ・モデルとしての「駆けぬける歓び」のさらなる高みに挑戦している。

*: BMW 220 グラン クーペ M Sport および BMW 220d グラン クーペ M Sport に搭載となります。

日本カー・オブ・ザ・イヤーについて

「日本カー・オブ・ザ・イヤー」は、日本のモータリゼーションの発展とコンシューマーへの最新モデルおよび最新技術の周知を目的として、1980 年に創設された。

現在、一般社団法人 日本カー・オブ・ザ・イヤーが構成する日本カー・オブ・ザ・イヤー実行委員会により運営されている。

選考対象となるクルマは、前年の 11 月 1 日より当年の 10 月 31 日までに日本国内において発表された乗用車で、60 名を上限とした選考委員の投票によって決定される。

また、その年を代表するクルマとなる「日本カー・オブ・ザ・イヤー」が日本メーカー車だった場合、海外メーカー車でもっとも多く得票したクルマに「インポート・カー・オブ・ザ・イヤー」が与えられる。

2022 年までは、さらに 4 つの部門賞、「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」、「テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー」、「パフォーマンス・カー・オブ・ザ・イヤー」、「K CAR オブ・ザ・イヤー」が設けられていたが、2023 年からは 2 つの部門賞が廃止され、現在の部門賞は、「デザイン・カー・オブ・ザ・イヤー」と「テクノロジー・カー・オブ・ザ・イヤー」の 2 つである。

1980 年の創設以来「日本カー・オブ・ザ・イヤー」は、文字どおり日本を代表する「クルマの賞典」として、世界からも高く評価されている。

本件に関する読者および視聴者からのお問合せ先:

BMW カスタマー・インターラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>